土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

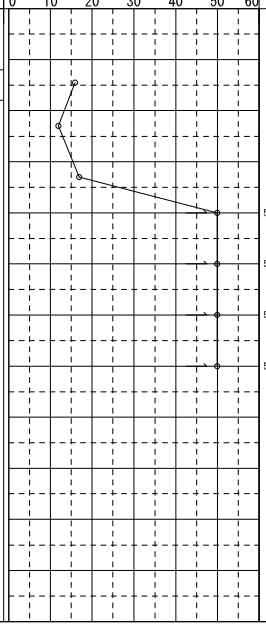
調査名	一級河川江の川水系 神宮寺川 測量設計地質調査業務委託（通常砂防・交付金）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	R2-Bor.No.5	調査位置	広島県庄原市口和町（副堰堤東渓流谷部）	北緯	34° 55' 11.0090"
発注機関	広島県北部建設事務所　庄原支所	調査期間	令和3年 2月 5日～ 令和3年 2月10日	東経	132° 53' 46.9310"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 351.83m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	7.00m	地盤勾配	0° 鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機：東邦DO-D型 / エンジン：ヤンマー TF-90M / ポンプ：東邦BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	350.23	1.60		玉石・礫混り粘土質砂		暗褐	rd3		細砂～中砂主体。 粘性中位の粘土分を全体的に混入する。 φ10～30mm程度の礫を10%程度混入する。 0.90～1.15m間にコア長25ｃｍ程度の花崗閃緑岩質玉石を混入する。	2/9 1.20 2/10 1.80
2				礫混じり砂		暗茶～灰褐	rd3		中～粗砂主体。 φ30～150mm程度の礫10%程度混入する。 粘土分を全体的に若干混入する。 GL-3.65m以深，礫・玉石の混入量がやや増加する。	
3										
4	347.93	3.90								
	347.13	4.70		花崗斑岩		淡褐灰			礫状～岩片状コアを呈する。 ハンマー軽打で崩れる。 亀裂多く，一部に粘土を挟む。	
5				花崗斑岩		暗灰			岩片～柱状コアを呈する。 GL-5.60m以深，亀裂多いが，岩芯は硬質。 RQD 3.90～4.00m　0% 4.00～5.00m　0% 5.00～6.00m　20% 6.00～7.00m　0% 岩級区分 GL-3.90～4.70m　DH GL-4.70～5.00m　CL GL-5.00～7.00m　CM	
6										
7	344.83	7.00								
8										
9										
10										
11										
12										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
16	1.30	6	5	5	16/300		
12	1.60 2.15	5	3	4	12/300		
17	2.45 3.15	5	6	6	17/300		
50以上	3.45 4.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	5.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	6.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	7.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				2/8
				2/9
				2/10